

スポンサー様

MELAKA WORLD HERITAGE CITY

INVITATIONAL JET SKI CHALLENGE 2011

開催日

7月8・9・10日

出場クラス

Pro Runabout 4-Stroke Open

Endurance Open (75minutes+1 lap)

結果

クローズド

Moto#1 1位

Moto#2 2位

Moto#3 2位

Moto#4 3位

クローズド総合

2位

Endurance Open

1位

(2位以下全艇周回遅れ)

2度目の参戦となったマレーシアでの今回のレースは、前回のレースが4月に行われたので約3か月ぶりのマレーシア戦となりました。今回のレース会場は“メラカ”という場所で、首都のクアラルンプールからはタクシーで2時間近くの距離でした。使用艇はRXT-X 255 Open 艇でした。

レース会場には前日の夜に着き、1泊した次の日からレースが始まりました。

朝レース会場に到着し受付を済ませたら、プララン前にどんな船なのかをチェックするために少し乗ってみるとやたら遅い!!その後“シードゥーマレーシア”の人にPCを繋げてチェックしてもらったらセッティングが間違っていたらしい...。オーナーは「前日にテストして凄く良かったからおかしいはずがない!!」と言うが...。その後はなんとか調子が戻って無事にプラランを走れました!プララン後になんておかしかったのか理由を聞いてみると、僕がテストで乗る前にランヤードを紛失してしまったらしく、違うランヤードでも使えるようにしたらセッティングがずれてしまったらしい...

プララン前から色々と問題があったもののMoto#1は難なくアウトのホールショット!合流ではインのトップに続き合流で2位。次の周で1位を抜いて1位に浮上。その後2位をどんどん離していき、15周走り切りました。

午後から行われたMoto#2は、スタートのタイミングはよかったものの、1ブイまでにかぶされてしまいインの2位。その後合流では3位だったものの、2周目で2位が目の前でいきなりスピンをし、避けきれずに衝突。そこで時間をくってしまい、その間に2台に抜かれて4位まで下がってしまいました。その後は3位・2位と順調に抜いていき、後1周あれば...というところでレースが終わりました。

次のMoto#3は日曜日の午前の1発目でした。本当は土曜日の最後にやるはずが、救急車が帰ってしまったせいで出来なくなり、次の日に持越しとなりました。Moto#3のスタートではタイミングよく出れたはずが、なぜかキャビテーションで出遅れ...。アウトの3位で合流では5位でホームストレートを通りました。それからキャビテーションが収まらず、加速があまりにも悪かったです。そんな中でなんとか2位まで上がり、そのままゴールとなりました。

Moto#3が終わってからポンプを外してみると、ポンプが砂の侵入のせいかガリガリになっていて、キャビテーションもどんどんひどくなっていきました。

ポンプを変える時間がなかったのでそのままのポンプでMoto#4に出ました。やはりスタートは出れず、アウトの3位で合流では6位でした。その後は1台ずつ抜いていき、3位と4位を行ったり来たりしていましたが、最終的には2位が目の前の3位でゴールしました。

日曜日の午後からはエンデュランスが行われました。スタートはル・マン方式で、スターターがフラッグを挙げたのと同時にライダーはスタートし、船に乗り込んでスタートしました。僕がエンジンをかけてスタートした頃にはすでに2艇先に行っていて、1周目は更に

1 艇に抜かれて 4 位で帰ってきました。今回のエンデュランスのコースは外海に出て、スタートゲートからはぼやけるぐらいにしか見えない巨大なタンカーを 2 艇曲がって、内海に帰ってきたら 1 つ大きい白ブイを曲がって小さい S 字のスラロームを曲がったらホームストレートへ...というようなコースでした。今回は風が凄いでいて、外海はもの凄く荒れていた事もあり、どんなに速い船に乗ってるライダーも大分苦戦していました。そんな中、ピットインする時以外は 1 度も座らず常に立ち続けていた僕だけが波を上手く交わしていき、独自で波を超えやすい“一番走りやすいライン”を考えて走りました。その結果、最終的には 2 位まで周回遅れにする事ができ、ゴール後にはチェッカーフラッグと日本国旗を持って日本人の存在をアピールすることができました。

レースを終えての感想

今回のメラカでのレースは、ポンプの調子が悪くなって船がキャビテーションをおこす中、クローズドでは 2 位でエンデュランスでは 1 位になる事ができたので、自分の中では上出来な方だったと思います。また、このような船でも順位を落とさないでいけたのは、今までのレース経験を生かして最後まで諦めない気持ちを持って走れたからだと思います。

次のレースは、マレーシアのクアラルンプールでの大会に出場をする予定です。また、新たに“カワサキマレーシア”とのサポート契約もできたので、次のレースは乗り慣れた ULTRA300X での出場予定です。

次のレースではクローズドで優勝するので応援の程宜しくをお願いします。





TEAM WPS Japan

#1 小原 聡将